



# ほうきさん 9月

2016年

椋本673 存仁寺

「和訳正信偈」

救<sup>すく</sup>わるる

値<sup>あ</sup>いて

弘<sup>ぐ</sup>誓<sup>ぜい</sup>に

造<sup>つく</sup>るとも

一<sup>いっしょう</sup>生<sup>あく</sup>悪<sup>あく</sup>を

## — おかげさま・ありがとう —



九月に入りました。お盆も終わりました、花火も終わりました、夏休みも終わりました。盛んに鳴いていたセミの声も、コオロギやクツワムシの夜の虫たちの声の響きに移ってきました。秋の気配が感じられる頃、夏が終わる寂しさを感じます。人生も何時しか過ぎてゆく中、血気盛んな夏の世代から老いの秋を迎えていくことに、哀愁を感じる方もおられることでしょう。しかし、寂しさだけではありません。秋は「実りの秋」です。現在は、お米の品種も改良され、取り入れも終わっているところも多くなりました。「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」と詠まれるごとく、実ったお米の重さで稲穂が頭を垂れている光景があります。私たちも、人生の秋にはみのあるように頭がさがる姿勢でありたいものです。振り返ると、今私がここにいることは不思議なことと思う事はないですか。よく「おかげさんで」と言葉が使われますが、実に重たい言葉です。人と生れ、過ごしてきた時間の中、たくさんの出会った人たちがいる。わたしが存在しているのは、多くのお育てをいただいていたことでありました。先ほどの「お米」では、八十八の手間がかかるということが漢字に現れていると云われます。

自然、人の手など様々なはたらきに依ってお米ができるからでしょう。同じように「人」とは、歩いている姿を側面からあらわした姿を文字にしたと云われますが、「もちつ・もたれつ・たがいに依らにや・人と」という字は成り立たぬ」と聞かせていただいたことがあります。人として生きること、お互いが支え、支えられながら生業をしている、誰かのお世話になりながら、誰かと助け合いながらでしか、生きていくことはできないということを仏法は教えてくださいます。そして、いつでも私のいのちに寄り添っていて下さる阿弥陀さまにであう中、「おかげさま」「ありがとう」と生きる力、元気がでます。手を合わせることの大切さ、

礼拝の尊さが味わえてまいります。

住職

倒れかかった身体同士で 互いを支えあえたら  
人という文字になる 支えられたり支えたり  
人は一人では生きられないと気づくもの  
きつとあなたとふたり 生きてゆくと決めた

水簾刈る信濃 月は田毎に残菊薫る 秋麗

「秋麗」 さだまさしさん

### 二生悪を造るとも 弘誓に値いて 救わるる

親鸞聖人が書かれた『唯信鈔文意』という書物に、「自力のこころをすつといふは、やうやうさまさまの大小の聖人・善悪の凡夫の、みづからが身をよしとおもふこころをすて、身をたのまず、あしきところをかへりみず」という一文があります。仏の喚び声に身をまかせるということは、悪しき心を小賢しくかえりみないということだ、と。たしかに反省というのは一見すると我が身の悪や罪を深く悔いている行為のようですが、実際に反省している自分を思い返してみると、それは自分を免罪するための手続きでしかないことが多いように思われます。反省しているのだからもういいじゃないかと。そして自分が為したことを忘れ、また同じことを繰り返します。反省する前に、まず自分自身を見つめる。受け止める。それが本当にできるのは、弘誓という阿弥陀さまの願いによるすくいのおかげです。そこから開かれるすくいには、「ありのままの自分」との和解に他なりません。二〇一六年法語カレンダー「心に響く言葉」より

## 9月の行事

- 1日(木) 6時30分 おあさじ  
13時30分 コーラス
- 3日(土) 鈴鹿組ご縁づくりウォーク
- 14日(水) 19時 総代会
- 15日(木) 13時30分 無量寿会例会
- 16日(金) 6時30分 おあさじ
- 20日(火)～21日(水) 鈴鹿組仏婦念仏奉仕  
19日～25日 秋季彼岸
- 25日(日) 19時 仏壮例会



## 10月の行事

- 1日(土) 6時30分 おあさじ
- 1日(土)～2日(日) 秋季永代経法要
- 2日(日) 17時 世話方会
- 6日(木) 13時30分 コーラス
- 16日(日) 6時30分 おあさじ



### 秋の法座〈秋季永代経法要〉

10月1日(土) 午後1時30分

10月2日(日) 午後1時30分

法話 岐阜 慶圓寺 譲西賢師<sup>ゆずり さいけん</sup>

この度初めてのご縁に合わせさせていただきます。  
先生は真宗大谷派のご住職、現在は岐阜聖徳学園大学で教鞭をなされています。また、臨床心理士・学校心理士もなさってみえ、全国各地に講演に行かれます。

であいを頂きましたこと誠にありがとうございます。

受け継がれしいのちのバトン

受け継がれしお念仏のみ教え

今を生かさせていただくことに思いを寄せ

お同行皆さん、ともに

おつとめさせていただきますよう

ご聴聞させていただきますよう

「平和の鐘」 9月18日、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要では、宗門として恒久平和への願いを新たにするため「平和宣言」を行い、さらに「平和の鐘」を撞きます。平和への決意を、日本国内外に響かせ届けたいという願いのもとはじめられました。各寺におきましても、法要と同時刻(13:15～13:20)に、梵鐘(または喚鐘など)を撞いていただきますようお願いいたします。 浄土真宗本願寺派

### 宗派・教区・鈴鹿組関連など

- 9月6日(火) 鈴鹿組僧侶回門徒推進員研修会  
中勢組僧侶寺族研修会  
「葬儀とは」正覚寺様にて
- 9月8日(木) 19時 鈴鹿組仏教婦人会  
役員会 存仁寺
- 9月18日(日) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要  
鈴鹿組第20期門徒推進員養成連続研修会  
開講式 楠平尾 専念寺様 9時
- 9月24日(土) 13時30分・18時30分  
25日(日) 13時30分 津市丸の内  
正覚寺永代経法要 奈良 勝光寺 花岡静人師

### 第6回「大人の寺小屋」開催のご案内

日時:平成28年9月30日(金)19:00～

場所:津市丸の内 正覚寺様

『伊賀の風土と我が農業』

語る人: 中川 甫 氏



### 芸濃町仏教会旅行のお知らせ

どなたでもご参加ください

『永平寺参拝と羽二重餅の古里』

日時 10月12日(水)

出発 7時30分

集合場所 芸濃総合文化センター

参加費 8000円

締切 9月23日までお寺に申し込み下さい



お彼岸さんを迎えます。お墓やその周辺やお仏壇をきれいにしましょう。心のお洗濯にもなりますね。

